

平成29年度事業実績について
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1 事業活動概況

県民の総合的な健康づくりを積極的に推進するため、健（検）診・検査、健康づくり支援事業、普及啓発等の各種事業のより一層の質の向上と充実に取り組んだ。また、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取り組み、豊富な健診情報を基にした調査分析活動への積極的な取り組み等を推進した。

2 各事業概要

(1) 健（検）診・検査事業

① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施した。

主な健（検）診・検査 (単位；件)

項 目	29年度 実施数(A)	28年度 実施数(B)	増減 A-B
特定健康診査	23,369	22,601	768
特定保健指導	483	410	73
胸部X線検診(結核検診等)	67,551	70,983	△3,432
がん検診	106,833	110,543	△3,710
胃がん検診	16,235	21,153	△4,918
肺がん検診	32,397	32,958	△561
肺がんCT検診	14,511	14,447	64
大腸がん検診	17,919	18,690	△771
子宮頸がん検診	12,335	10,524	1,811
乳がん検診	5,012	4,354	658
前立腺がん検診	8,424	8,417	7
胃がんリスク検査	3,142	1,573	1,569
腹部超音波検診	812	1,053	△241
骨粗鬆症検診	1,511	1,609	△98
合 計	203,701	208,772	△5,071

② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、勤労者の健康増進に取り組んだ。

主な健（検）診の状況 (単位；件)

項 目	29年度 実施数(A)	28年度 実施数(B)	増減 A-B
特定健康診査	551	564	△ 13
特定保健指導	750	644	106
胸部X線検診(結核検診等)	59,678	59,681	△ 3
一般健康診断	59,161	62,277	△ 3,116
特殊健康診断	4,382	3,496	886
指導勧奨による健康診断	1,852	1,975	△ 123
がん検診	28,985	28,168	817
胃がん検診	10,953	10,730	223
肺がん検診	357	413	△ 56
肺がんCT検診	1,407	1,258	149
大腸がん検診	9,994	9,478	516
子宮頸がん検診	2,588	2,555	33
乳がん検診	1,885	1,871	14
前立腺がん検診	1,801	1,863	△ 62
腹部超音波検診	1,535	1,481	54
骨粗鬆症検診	503	392	111
合 計	157,397	158,678	△ 1,281

- ・ 一般健康診断（雇入時・定期・特定業務従事者・給食従事者の検便）
- ・ 特殊健康診断（じん肺・石綿・有機溶剤・鉛・特定化学物質・電離放射線等）
- ・ 指導勧奨による特殊健康診断（VDT作業・振動業務）

③ 学校保健

学校保健安全法に基づく結核検診、尿検査、心臓検診に加え、小児生活習慣病予防健診、脊柱側彎症検診などの各種健（検）診・検査事業を実施した。

(単位；件)

項 目	29年度 実施数(A)	28年度 実施数(B)	増減 A-B
結核検診	13,112	13,230	△ 118
寄生虫卵検査	12,529	16,550	△ 4,021
尿検査（腎臓病、糖尿病検査）	109,168	110,711	△ 1,543
心臓病検診	8,505	8,700	△ 195
脊柱側彎症検診	11,182	11,422	△ 240
学校貧血検査	20,130	20,477	△ 347
小児生活習慣病予防健診	3,075	2,906	169
合 計	177,701	183,996	△ 6,295

④ 母子保健

新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療を目的に、タンデムマス法による新生児マススクリーニング検査を実施した。

(単位；件)

項 目	29年度 実施数(A)	28年度 実施数(B)	増減 A-B
先天性代謝異常等検査	10,627	11,017	△ 390

⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防や疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースを設定し、受診者にとって利便性の高い人間ドックを実施した。

(単位；件)

項 目	29年度 実施数(A)	28年度 実施数(B)	増減 A-B
人間ドック	930	1,153	△ 223

⑥ クリニック（個人の健康診断）

就職や進学時に必要な診断書作成のため、健康診断を実施した。

- ・ 一般健康診断
- ・ 腸内細菌検査
- ・ 就職、進学時に必要な健康診断

(単位；件)

項 目	29年度 実施数(A)	28年度 実施数(B)	増減 A-B
クリニック	467	586	△ 119

(2) 精度管理

① 精度管理委員会及び各種専門委員会の開催、運営

協会が実施する各種健（検）診・検査、保健指導等の精度の維持・向上を目的に、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的を開催した。

<各種専門委員会（9部門）>

生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、消化器がん、子宮頸がん、超音波検査、小児保健

② 職員の資質向上

予防医学事業中央会等の上部団体や、日本医師会、県医師会等が実施する精度管理事業に積極的に参加した。

また、事業を実施していく上で特に必要性の高い「マンモグラフィ検診施設画像認定」、「胃がん検診専門技師認定」、「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」、「超音波検査士」、「細胞検査士」、「マス・スクリーニング認定技術者」などの認定資格等の取得を推進するため、各種技術研修会へ積極的に職員を派遣するなど、関係職員の更なる技術向上に努めた。

(3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県の健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であることから、循環器疾患、がん、糖尿病を中心とした疾患の予防を目的として、地域、職域、学校を対象とした健康づくりの支援を実施した。(一部県委託事業)

① 健診データ解析情報及び健康情報の発信

協会が実施した健診データを解析し、それぞれの団体の健康課題等についての情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックした。

また、当協会の医師や保健師等が直接、市町村等に出向き、健康づくりに関する講話や指導等を行った。

支援方法	平成29年度	平成28年度
講演会、講話、派遣指導	5,666人(139回)	4,127人(143回)
情報紙(サンテ宮崎)	16,000部(年4回)	16,000部(年4回)
健康づくりセミナー	98人	84人

※ 実施者：医師(外部講師含む)・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

うち、医師による講演 22回(受講者 2,077人)

内容 「宮崎県内の現状から生活習慣病重症化予防に向けて」

「糖尿病とその予防について」

「簡単にできる運動を生活にとりいれよう」

「子どもの生活習慣病予防健診」、「健康診断活用法・健康診断の見方」 等

② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を実施した。また、保健指導実施者の育成のための研修会等を実施した。

内 容		平成29年度	平成28年度
特定保健指導	動機付け支援	651人	522人
	積極的支援	582人	532人
一般保健指導		129人	146人
指導者育成研修会等		502人(6回)	969人(9回)

③ がん検診受診環境整備事業（コールリコール事業）

市町村が実施するがん検診の未受診者に対して、県の委託を受け、市町村と連携を取りながら個別に受診勧奨を実施した。

		平成29年度	平成28年度
実施市町村数		6市1町 (宮崎市・延岡市・日南市・日向市・串間市・えびの市・川南町)	6市4町 (宮崎市・延岡市・日南市・日向市・串間市・えびの市・綾町・川南町・美郷町・高千穂町)
対象がん検診		胃・大腸・肺・子宮・乳	胃・大腸・子宮・乳
対象者数		38,846人	31,544人
1回目	文書勧奨	35,570人	29,085人
2回目	電話勧奨	6,649人 (18日間)	6,882人 (29日間)
	文書勧奨	23,084人	15,449人

④ がん検診の事後管理

がん検診で「要精密検査」となった方に対して、早い段階から市町村と連携して受診勧奨の取り組みを行った。

また、受診が判明した場合、医療機関への追跡調査を行い、精密検査の結果の把握に努めた。

平成29年度協会実施のがん検診の事後管理の状況 (単位：人、%)

	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検者数	1,421	210	425	1,736	392	261
要精検率	5.2	0.6	2.7	6.2	5.7	1.8
精検受診者数	1,157	174	389	1,157	325	197
精検受診率	81.4	82.9	91.5	66.6	82.9	75.5
発見がん数	23	13	25	28	16	4
がん発見率	0.08	0.04	0.16	0.10	0.23	0.03

※平成30年5月1日現在の状況

<参考>日本対がん協会まとめ全国平均 (平成28年度) (単位：%)

	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	6.6	2.0	3.7	6.1	4.7	1.4
精検受診率	79.9	79.5	84.1	69.1	90.1	83.8
がん発見率	0.12	0.05	0.18	0.15	0.24	0.01

(4) 普及啓発等

県民が主体的に健（検）診を受診し、生活習慣を改善するなどの積極的な行動を实践するよう、県民に対する啓発活動に取り組んだ。

① 健康情報の発信

- ・協会ホームページの内容を充実し、幅広い層への広報に努めた。

ホームページの種別	内 容	実 績 (アクセス数)	
		29年度	28年度
健康づくり協会HP	・協会案内 ・情報公開 ・健（検）診情報 等	84,814	86,820
健康推進センターHP	・ライフステージ別健康情報 ・健康づくりデータ 等 (人口、出生等市町村別情報)	24,946	28,673

- ・広報誌「サンテ宮崎」（年4回；各4千部）の発行による県民への健康情報の提供

第80号（H29. 5月）特集「地域医療とは何か？～宮崎県の課題と地域での医学教育～」

第81号（H29. 8月）特集「沈黙の臓器が悲鳴をあげる”肝臓病”」

第82号（H29. 11月）特集「大腸がんの診断から治療まで」

第83号（H30. 1月）特集「子宮頸がん検診について」

- ・テレビによる情報発信（健康情報番組協力）

テレビ局名	番 組 名
UMK	UMKじゃがじゃがサタデー 箱根駅伝
MRT	MRTニュースNEXT

- ・目指せ！健康長寿日本一、知ろう！実践しよう！「健康経営」推進プロジェクトへの協賛

- ・県政特集（宮崎日日新聞）内での広告の掲載

② 講演会や研修会等の開催

- ・「健康と食のフェスタ」（県農業連携推進課及びみやざきの食と農を考える県民会議との共催）

日時 平成29年11月19日（日） 9:30～15:30

場所 宮崎市JAアズム大ホール ほか

内容 無料健康診断（骨密度、血管年齢、アルコールパッチテスト、肺年齢、乳がん検診、身体計測、インボディ測定等）、パネル展示

来場者 約10,000名

- ・Karada Good Miyazaki シンポジウム（県農政水産部との共催）

日時 平成30年1月21日（日） 13:00～15:00

場所 ニューウェルシティ宮崎

内容 基調講演 「家族と健康に勝る宝なし」
（医学博士 木下 博勝氏）

トークショー「熱き想いを大切に」
（タレント／元Jリーガー 北澤 豪氏）

来場者 約400名

- ・市町村や職域の健康管理担当者向けの研修会（健康づくりセミナー）の開催

日時 平成30年 3月 5日（火） 10:30～15:00

場所 宮崎県総合保健センター 5階大研修室

内容 地域分科会「健診と保健指導體制・頸動脈超音波検診等」
職域分科会「がん検診の推進について・（新規）腫瘍マーカー・腹部超音波検診」

学校分科会「そうだったのか！小児生活習慣病予防健診・もっと知りたいがん教育」

事業説明「事業報告」（当協会 常務理事 湯田 敏行）

講演「健康管理が、豊かな人生を作る」

（株式会社タニタ前代表取締役社長 谷田 大輔氏）

来場者 約100名

③ 他団体との連携による啓発

- ・市町村等の他団体が行うイベント事業と連携して、啓発ブースの設置や検診車の見学会等を行った。

4/ 9	子宮がん予防街頭キャンペーン	宮崎市
9/ 2	こばやし市民健康フェスタ	小林市
9/10	都城市健康まつり	都城市
11/23	こばやし秋まつり	小林市
3/21	みやにち終活フェア	宮崎市

④ 上部団体等と連携した広報啓発

・（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会等の上部団体や、宮崎県健康増進婦人の会と連携し、結核予防やがんに関する広報啓発活動を行った。

○がん征圧月間（9.1～9.30）

○健康増進普及月間（9.1～9.30）

○結核予防週間（9.24～9.30）

○複十字シール募金運動（8.1～12.31）

街頭キャンペーン（宮崎市若草通「街市」、イオンモール都城駅前、イオン延岡）

啓発テレビCM

啓発ポスターの配付

懸垂幕掲示

啓発広告（新聞5社）

⑤ ピンクリボン活動の展開

県や関係機関と連携のもと、乳がん撲滅運動であるピンクリボン活動を積極的に展開し、乳がん検診の受診、早期発見、早期治療の必要性について普及啓発を図った。

・ピンクリボン活動みやざき実行委員会の運営

・患者会（Newピンクリボンの会）の開催（月1回）

・その他普及啓発活動

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017宮崎・久峰公園、

スポーツイベント出展（青島太平洋マラソン等）、

ピンクリボン支援自動販売機設置、学園祭（宮崎学園短期大学）、産業祭でのブース展示、乳がんモデルの触診体験 等

（5）健診総合システム（第2期稼働分）の開発

① 住民健診、職域健診、がん検診等について、予約業務、受付業務、帳票、契約登録、保健指導、追跡、基本マスタ、データコンバートのシステムが完成した。

② ハード機器（端末120台等）を導入した。

（参考）

① 第1期稼働分（平成28年度開発分）の開発実績

・学校保健について、検査、健診の予約、受付、結果報告のシステムが完成した。

・ハード機器（サーバ、端末20台等）を導入した。

② 平成30年度稼働予定分の内容

住民健診、職域健診、がん検診等に係る健診計画等のシステムを稼働する。